



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2010～2011 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「心をつくし、力を合わせて」

◆会長 清水 幸平 ◆幹事 大保木 正博 ◆会報委員長 今井 俊治 ◆会報担当 永井 信次

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488
◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600
◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～
◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 885 回	48 名	47 名	38 名	—	80.85%
前々回 883 回	48 名	47 名	42 名	2 名	93.62%

<点 鐘> 会長 清水 幸平
<ソング> それでこそロータリー

<会長の時間> 会長 清水 幸平

皆さんこんにちは。本日は当例会場での今年最後の例会となります。

本年度をふりかえりますと、会長を引き継ぐ前の 7 月 2 日にはもう国府中学で出前講座に参加させていただき、その後も各委員会にてさまざまな事業を熱心に推進していただきました。

創立 20 周年を迎えたということで記念事業も企画していただきました。飛騨高山高校での記念植樹、平塚湘南 RC との共同事業の中学校駅伝。心に残った創立 20 周年記念例会と楽しかった函館記念旅行。皆さんのお力のおかげで今日までやってくることが出来ました。どうもありがとうございました。



国内外でも大きなニュースがあり、本年度一年は印象に残ることが多い一年でした。

国政では総理大臣が鳩山さんから菅さんになりました。高山では新しく国島市長さんが選ばれました。衝撃的だったのは、尖閣諸島沖の中国漁船の衝突事件とその映像の流出問題でした。領土問題ばかりか情報の管理についても考えさせられました。

チュニジアの「ジャスミン革命」に触発されたエジプトのムバラク政権の崩壊がありました。百万人を越えたデモ隊の多くは、インターネットを通して、政権への怒りを共有した無党派の若者です。彼らは Face book や Twitter を活用しているそうです。現代の革命はかたちが変わりました。スポーツでは、大相撲が騒がれました。白鵬が活躍し、連

勝記録は千代の富士を抜いて昭和以降単独 2 位の 63 連勝。双葉山の記録は何とか残りました。また双葉山と大鵬に並ぶ史上最多 8 度目の全勝優勝を達成しました。しかしその後相撲界は八百長問題や野球賭博等の不祥事が発生し本場所は休場となってしまいました。

そして、3 月 11 日には、三陸沖東北関東大震災が発生しました。マグニチュード 9.0 ということで、国内では最大級の地震でした。今は東日本大震災と呼ばれています。地震の被害ばかりか、地震による津波の被害と原発事故が発生し被害が大きくなりました。被災された皆さまにお見舞いを申し上げます。またお亡くなりになった多くの方々のご冥福をお祈り申し上げます。

人間の力ではどうしようもないことが発生します。自然の力には叶いません。自然を畏れ自然と調和した営みをしなければならいのでしょうか。人間の思い通りにはなりません。隣国とも、隣人とも協力し、強調し生きていかなければなりません。

我々はロータリークラブの奉仕の理念を今一度確認し、その実践をしなければならないと思います。

次年度は本年度にもまして、平林会長を中心に高山中央 RC の益々の充実を祈念して会長の時間とさせていただきます。

<幹事報告> 大保木 正博

◎R I 本部より
・ロータリーアン誌



<本日のプログラム>クラブアッセンブリー**国際奉仕委員会 中田(専) 委員長**

平成 23 年 2 月 21 日・例会

地域からの国際奉仕活動、という主眼の元、地元からミャンマーの子供達への教育支援活動を続けておられるビルメロの会理事長・広瀬英一郎氏をお招きして、支援内容や支援活動に伴う困難さ、効果などについてお話を伺いました。また当日、例会時にミャンマー教育支援募金として皆様より頂戴致しました。

10 万円 + 地区 WCS の支援金 10 万円の合計 20 万円をミャンマーの子供達の教育支援の一助となるように広瀬氏に依託しました。

平成 23 年 6 月 3 日・例会

3/11 の東日本大震災、東電の原発事故により、国際貢献、交際支援ということの考え方も大きく異なって来たのかもしれない。というより、この大惨禍を一つの時間軸として、被災地の復興と伴にものあり方、考え方を我々も再構築する必要があるのかもしれない。

原発事故によって、国際観光都市高山からもそれまで増加傾向にあった外国人観光客の姿が激減しました。このような時だからこそ、国際観光都市高山が打つべき次の一手は何かを、じっくり考えるのも必要なことでは、という意図のもと、高山の在籍で英会話塾『Cas』を運営されているエリック・レイダ氏をお招きし、高山の暮らしや今後の展望につき、外国人在住者の立場からいろいろお話していただきました。

謝礼：5,000 円

その他の支出金

平成 23 年 5 月 13 日

- ・飛騨高山国際協会年会費：15,000 円

平成 23 年 6 月 3 日

- ・高山市都市提携委員会年会費：10,000 円

**親睦活動委員会 高原(清) 委員長****【基本方針】**

本年度の親睦活動委員会は、「家族」をキーワードに活動させていただきました。

我々ロータリアンが日頃活動し向上できるのは、家族の理解が大切であると考え、ここにこそロータリーの意義があると確信し、活動してまいりました。

【活動報告】

平成 22 年 8 月 9 日

納涼家族例会 ひだホテルプラザ

浴衣姿(軽装)でご家族とともに懇親を深めていただき

ロータリーの理解を深めていただく事ができました。

平成 22 年 12 月 20 日

忘年例会 銀風

混沌とする時代を憂いながらも、今ここに居られる有り難さを感じ、未来への夢を語り、会員相互の懇親を深める事ができました。

平成 23 年 2 月 7 日

節分例会 飛騨総社～山陣

年男並びに新会員の無病息災、高山中央 R C のますますの発展を祈願した後は、会員相互の懇親を深める事ができました。

平成 23 年 4 月 25 日

軽スポーツ例会 「太極拳講座」 ひだホテルプラザ 「釜屋利夫」先生をお招きし、健康の効果や、生きがいの効果も有ると言われている太極拳を少し体験してみました。

平成 23 年 5 月 14 日

創立 20 周年記念例会への協力

20 周年実行委員会に協力という形で、関わらせて頂きました。

記念祝賀会アトラクションには親睦活動委員会全員で、周信夫君監修の元「スコープ三味線」の演奏をさせていただきました。



至らない委員長でありましたが、坂之上副委員長をはじめ委員会のメンバー皆様のご理解と、ご協力のお陰様で、大役を終える事ができました。特に島良明先輩には示唆に富んだ意見を頂きまして誠にありがとうございました。私にとって意義ある 1 年となりました。

広報/雑誌委員会 水川 委員長**【基本方針】**

「ロータリーの友」での会員相互の情報の共有と、高山中央 R C が地域社会にその活動を広く認識されるように広報活動を展開する。具体的な活動計画として、「ロータリーの友」精読の奨励と記事を紹介する、当クラブの活動状況を「ロータリーの友」「ガバナー月信」等に投稿する。でありました

**【活動報告】**

皆様もご存じの通り今年度は、ロータリーの友に当高山中央 R C に関する記事が 5 回掲載されました。

8 月号には、バナー自慢のコーナーにおいて、当クラブの

バナーが紹介されております。10月号では国府中学校での出前講座の記事が掲載されました。又2月号には平塚湘南クラブとの中学生の駅伝交流事業、3月号には20周年記念事業である高校生との植樹の記事が掲載されました。又今年度最後となる6月号には、飛騨特別支援学校の生徒とのスキー交流会の記事が掲載されるなど、数多くの記事がロータリーの友を通じて紹介された事で、当クラブの活動内容を広く知っていただく事に繋がったのではないかと思います。

活動内容としては、例年高山3RC合同で、高山市民時報紙にロータリー特集を掲載しておりましたが、今年度は高山市で国際ロータリー第2630地区の地区大会が開催されることを記念して、地区大会の開催日に合わせて、国際ロータリー特集と題して高山3RC合同で、A3版面印刷のチラシを市民時報紙に折り込み配布をしました。又担当例会は1回、4月4日に4名の会員の皆様に「ロータリーの友」について、日頃購読して印象に残ったことなどを発表していただきました。

皆様に対して「ロータリーの友」の精読の奨励などができませんでしたが、ロータリーの下院の義務の一つに、ロータリーの雑誌の購読という項目があるのは皆様もご存知だと思います。他の二つの義務と比べて罰則などのペナルティーがないため、なかなか浸透しないのが現状だと思いますが、これを機会に「ロータリーの友」を毎月欠かさず読んでいただきたいと思います。

一年間皆様のご協力ありがとうございました。

会員開発委員会

伊藤 委員長

【基本方針】

職業分類・会員選考・会員増強・ロータリー情報の各委員会委員長と連携をとり、新会員の開発及び研修と全会員の質向上に努める。

【活動報告】

IDMへ協力 2010年11月4日 銀風で開催に参加協力会員増強への協力 結果として5名の推薦ができた。

担当例会 2010年12月6日 地区の青少年育成委員会の考え方の説明をPPTで行った。



会員増強委員会

周 委員長

【基本方針】

既存会員の仲間意識を向上させ、会員の増加と積極的な勧誘を促進する事

【活動報告】

昨年8月2日に一回目の担当例会を「みんなで考えよう会員拡大」と題し地区協議会で学んだ事を主体に発表させていただきました。

2回目の担当例会の今年の2月14日に、昨年度増強委員長をされた高木さんからロータリークラブへ新入会を勧

める立場から、また、新入会された堀口さんから入会を勧められた立場からそれぞれの立場での思いをお話いただきました。

皆さん、ご承知のように年々ロータリー会員の減少が問題になっています。もちろん景気の後退や人口の減少といった避けがたい要因があるわけですが会員一人一人が会員拡大に無関心であればいずれクラブは消滅してしまいます。幸い当クラブは一定した会員数を保っていますが負の連鎖がいちどでも始まれば今の人数を確保できなくなります。2回の例会を通じて今後の皆様方への拡大増強の参考にしていただければ幸いです。



職業分類会員選考委員会

富士井 委員長

【基本方針】

未充填の職業分類を作成し会員増強を推進し、推薦された人の職業上の事柄、社会的地位、一般的な適格性等を調べ理事会に報告する。

【活動報告】

本年は5名の方が推薦されてきました。7月に1名入会されましたが、10月に退会されました。

担当例会を2回8月2日と2月14日会員増強と合同いたしました。



ロータリー情報委員会

松之木 委員長

H22. 11. 4(木)

IDMを銀風さんにてPM6:00～開催しました。

新会員、堀口裕之さん、高島寧さんと2名の予定でしたが、高島さん転勤の為、堀口さん一人だけの勉強会になりました。

講師には歴代会長、剣田さん、島さん、伊藤さん(代理：三枝さん)ありがとうございました。

H22. 11. 29(月)

IDMの報告という事で堀口裕之さんに勉強会報告、自分の職業について話していただきました。

H23. 5. 30(月)

講師例会 記念旅行日の次の日でしたので出席者の数が心配でしたが、高山市役所元文化財課長の田中彰さんに「パリの景観と城下町高山の町並み」についてパン

コン持参でプロジェクターを見ながら卓話をして頂きました。



環境保全委員会

長瀬 委員長

【基本方針】

家庭と事業所における CO2 の削減に取り組むとともに、生物の多様性を守り、自然の恵みを持続可能な形で残していくよう、環境保全活動に取り組む。

【活動報告】

担当例会は 2 回の計画でした。
平成 22 年 10 月 12 日に、20 周年委員会との共同開催にて、飛騨高山高校（環境科学課）の生徒さんと、同校の演習林に植樹活動を行いました。例年、授業の一環として行われていた同校の植樹実習でしたが、県の財政難といったこともあって、苗木の確保が困難となっておりましたところ、クラブにて苗木を植林するという活動を実現することができました。

当日は、第一部としてブナやコナラなど、約 170 本の苗木を額に汗して植林し、第二部として生徒さんの主導でネイチャーゲームを行いました。森の中を歩き回ることによって、改めて自然への気付きを得る事ができました。

（予算 ¥50,000-）

平成 23 年 5 月に、里山環境保護の一環として、城山とその周辺の清掃活動を計画しておりましたが、次年度のコミュニケーション例会に変更されましたので、実施されませんでした。

（予算 ¥5,000-）



新世代/青少年育成委員会

谷口 委員長

【基本方針】

青少年の健全育成の一助となる活動を推進する

【活動報告】

1. 平成 22 年 9 月 6 日（月）夜

飛騨高山ビッグアリーナ

岐阜県より国体出場強化チームの指定を受け、平成 24 年岐阜清流国体ハンドボール競技においてベスト 4 以上を目標に強化に取り組んでいる H C 高山を応援するための例会を H C 高山の練習に合わせ、夜、飛騨高山ビッグアリ

ーナにて開催しました。

(1) H C 高山の山川監督と高山市ハンドボール協会の下萩広報部長をお迎えし多目的ルームにて開催

①清水会長が歓迎のあいさつと高山中央ロータリークラブの支援内容（国体までの 3 年間継続）について説明

②高山市ハンドボール協会の針山会長が H C 高山の成り立ちや現状や課題について説明

③下萩広報部長が H C 高山の最近の戦績報告や支援の協力依頼

④山川監督による『ハンドボールを通して学んだ選手の手引きを引出すなど青少年を育成するための方法』に関する卓話

(2) メインアリーナに移動し H C 高山の練習風景を視察後清水会長から東キャプテンに激励金（10 万円）を贈呈



2. 平成 22 年 10 月 17 日（日）

平塚市総合公園および周回コース

共に創立 20 年を迎えた平塚湘南ロータリークラブと共同で、青少年交流事業の一環として両市の中学生が駅伝大会で交流することを企画し実施しました。高山市の選抜チームを平塚市中学校総合体育大会駅伝競走大会に参加させるために必要な遠征費や宿泊等に関するサポートを両クラブで負担しました。交流内容は次の通りです。

(1) 男女共に高山市大会で優勝した中山中学校チームが平塚市中学校総合体育大会駅伝競走大会にオープン参加し、平塚市および伊勢原市のチームと順位を競い合いました。結果は女子が 1 位、男子が 2 位という素晴らしい成績でゴールする大健闘に対して、大蔵市長を始め平塚市民の皆様から盛んな拍手が贈られていました。また、大会に先立ち中山中学校の坂本校長と共に清水会長が平塚市長らと歓談する時間が設けられ、高山市と平塚市の交流に大いに貢献したと思います。

(2) 大会終了後、公園内のレストランに移動し、中山中学校と大会に参加した平塚市立神田中学校の選手、そして両クラブのメンバーが参加して交流会が開催されました。平塚の生徒達は、「来年は是非高山へ行きたい」と話していました。

社会奉仕や青少年育成を始めとする社会教育において、行政の力だけではなく、民の力が大変重要になって来ています。私たちロータリークラブが民の力としてこうした社会的要請を担っていくことは、今後重要な奉仕活動のひとつになると思います。そうした面からも今回中学生交流をコーディネートした意義は非常に大きいものであったと思います。

3. 平成 23 年 3 月 14 日（月） ひだホテルプラザ

講師例会 講師：谷口茂雄様（平成 20 年 3 月に中山中学校校長を最後に 38 年間の教員生活を終えられ、現在教育研究所の教育相談員） テーマ：「人を育てる」で依頼

『人生にはすべて意味がある～眠れぬ夜と狂おしくも愛おしい教育の営み』というテーマで教員時代の体験を基に講演。

「学校」とは何をしたらいいのか

- (1)子ども 1 人ひとりの可能性にこだわり、組織としての総力を発揮して、「生きる力」を培い、「社会人基礎力」を育む。
 - (2)親や地域の人々の期待にこたえ、やさしさのある社会形成のために貢献できる人を育てる。
 - (3)子どもを中心に、学校に関わるすべての人が、学校力のさらなる発展をもとめて、工夫と知恵を集結し、うごき、成長し、喜んで集まる。
4. 高山市青少年育成市民会議のメンバーとして
- (1)総会に出席
 - (2)活動補助金を寄付
5. 年間計画において、国際ロータリー 2630 地区青少年育成委員会の計画に沿った活動を検討することを計画しましたが、社会奉仕委員会が「出前講座」を計画し実施したため、当委員会としては検討しませんでした。

ロータリー財団委員会 岡崎 委員長

ロータリー財団会員ですが、副委員長に永井信次さんと私岡崎の 2 名です。

【基本方針】

ロータリー財団の目的、意義を会員に深く理解していただくという事です。

【活動報告】

平成 22 年 11 月 8 日に、地区ロータリー財団推進委員会委員の美濃加茂ロータリークラブ 水野英雄様に卓話を頂きました。

その内容は、ロータリー財団の歴史、2630 地区ロータリー財団の委員会の活動等及び『未来の夢計画に基づく新補助金』プログラムについての説明でした。

また、ロータリー財団への寄付及びボリオ撲滅のための寄付についても、皆様方にご協力いただきありがとうございました。



米山奨学委員会 渡辺 委員長

私と和田さん高原清人さんがメンバーです。米山奨学事業を理解してもらうために、米山奨学会の作成した DVD を 10 月 18 日の例会で見てもらいました。財団には、1 人当たり会費から 4 千円と、3 千円を目安として集金した学を送金しました。1 万 2 千円の予算をとっていましたが、支出はありませんでした。



友好クラブ交流委員会 三枝 委員長

【基本方針】

友好クラブである、平塚湘南ロータリークラブと交流を深め、互いの向上に務める。

【活動報告】

2 年前より、お互いの負担も考え隔年おきの交流に決まっておりましたが、本年は、高山中央ロータリークラブ、平塚湘南ロータリークラブとも、20 周年にあたり、お互いの 20 周年記念式典及び祝賀会に参加を致しました。

1 月 29 日、30 日と平塚湘南ロータリークラブへ 19 名で出席をし、バス代、土産代などで 316,500 円を出費いたしました。

また、5 月 14 日、15 日の高山中央ロータリークラブの 20 周年には、平塚湘南ロータリークラブより 18 名が参加頂き、15 日の観光の補助で 32,600 円とゴルフの補助で 34,800 円を出費いたしました。



<ニコニコBOX>

会員の皆様に感謝申し上げます。

三輪 義平

先週の土曜日、本年度最後の青少年育成委員会があり、永家さんと一緒に出席してきました。4 年近く活動させて頂きましたが、来期より永家さんが副委員長として活躍して頂く事になりましたので皆様の協力をお願い致します。

伊藤 正隆